

令和元年 11 月市長定例記者会見 記録

令和元年 11 月 26 日(火)

午前 10 時～午前 10 時 40 分

発表案件

1 令和元年度佐渡市一般会計補正予算（第 9 号）について

12 月の定例市議会に佐渡市一般会計補正予算第 9 号を上程いたします。今回の一般会計の補正予算の規模は 7 億 7,351 万円を追加し、今年度の予算総額が 450 億 5,079 万 7,000 円となります。主な内容でございますが、非常用電源整備事業については、停電時の災害対応を円滑かつ継続的に進めるため、佐和田、畑野、真野、赤泊行政サービスセンターに非常用電源を整備しますが、電源供給内容等を見直し、実施設計が確定したことに伴い、発電機設置工事等に係る経費に 3,390 万円を増額計上いたします。次に、老人福祉施設整備事業につきましては、第 7 期介護保険事業計画に基づき佐和田地区において民間事業者が行う認知症対応型共同生活介護施設 2 ユニット 18 床の整備に対する補助金など介護基盤整備事業補助金に 3,208 万 4,000 円を増額計上するものでございます。次に、戸籍住民基本台帳事務事業につきましては、令和 3 年 3 月からマイナンバーカードの保険証利用が開始されることに伴い、マイナンバーカードの普及を図り、交付申請に必要な作業をワンストップで行える環境を整備するための経費としまして新たに 823 万 2,000 円を追加いたします。次に、佐渡市待鶴荘介護報酬不正請求事案に係る経費につきましては、平成 30 年 12 月に発覚しました佐渡市特定施設待鶴荘における介護報酬不正請求事案による職員の不祥事を受けとめ、市長については給料月額額の 10 分の 1 を 3 か月間、副市長については給料月額額の 10 分の 1 を 2 か月間それぞれ減額し、令和 2 年 1 月分から適用します。また、再発防止の取り組みとして待鶴荘訪問介護事業所を令和元年 12 月 1 日に休止することに伴い、歳入歳出において所要額を計上するものでございます。次に、災害復旧費につきましては、10 月に発生しました台風被害等に係る農地・農業用施設や土木施設などの災害復旧経費に 6 億 671 万 6,000 円を追加計上するものでございます。また、債務負担行為の設定による公共工事の平準化については、工事量の少ない 4 月から 6 月期に対応するため、令和 2 年度に実施予定の公共事業の一部について前倒して年度内に発注できるよう債務負担行為の設定を行うものでございます。また、その他の経費につきましては、9 月補正予算編成後の事由による必要な経費を計上させていただくこととなりますので、よろしくお願いたします。

2 第 2 期佐渡市子ども・子育て支援事業計画（素案）に係るパブリックコメントの実施について

現在、令和 2 年度から令和 6 年度までの 5 年間を計画期間とする第 2 期佐渡市子ども・子育て支援事業計画を策定中でございます。この計画の策定にあたっては、有識者及び保護者等で構成される子ども・子育て支援会議を開催し、事業内容及び文言表記等について協議を重ねてまいりました。国への報告が必要なサービスの見込み量のほか、佐渡市人口ビジョン、将来ビジョンとの整合性を

図りながら人口動態等を算定し、施策の展開等を再度検証して今後の子育て支援施策を総括した計画とする予定でございます。

このたび計画の素案ができましたので、素案に対し市民から広く意見を求め、計画に反映させることを目的としまして令和元年11月15日から12月16日までパブリックコメントを現在実施しております。計画素案については、子ども若者課、各支所・行政サービスセンター・連絡所及び中央図書館、各地区教育事務所、ホームページ等で閲覧可能でございますので、大勢の皆様のご意見をお待ちしておりますので、よろしくお願いいたします。

3 佐渡市雇用機会拡充事業の公募に向けた事前相談を行なっています

有人国境離島法に基づく来年度の佐渡市雇用機会拡充事業の公募に向けた事前相談を実施いたします。起業や事業拡大を行う方に対象経費の4分の3を助成する制度でございます。相談期間は土日祝日を除く今月20日から来年1月10日までで、検討中の事業については制度の趣旨に沿っているか確認し、応募に向けた事業計画の作成について支援させていただきます。その後、来年1月14日から2月10日の間に事前協議書を受付けし、2月25日から28日の間に審査会を実施する予定となっております。電話・FAX・メールで受け付けておりますので、お気軽にご相談いただければと思います。多数の事業者の方の応募をお待ちしております。

4 課題解決型職場体験発表会の開催について

佐渡市では平成27年度からキャリア教育の一環としまして、中学校での課題解決型職場体験に取り組んでまいりました。毎年モデル校を設け、生徒が職場体験を通じて仕事のやりがいや大変さを感じ、受け入れ先の事業所から与えられた問題解決に向けて真剣に取り組めるよう支援してまいりました。今年度は内海府中学校、前浜中学校、松ヶ崎中学校の3校がモデル校として取り組み、これで佐渡市内の13校すべての中学校が教育委員会の支援のもと職場体験を行ったこととなります。また、今年度は佐渡中等教育学校も一緒に取り組みました。

この取り組みの成果発表を11月28日木曜日の13時50分から16時30分まで両津のあいぽーと佐渡を会場に4校合同で行います。発表会に向けては内海府中学校、前浜中学校、松ヶ崎中学校の3校は小規模校のため、事前の学習や事後学習を一緒に行い、お互いの取り組みを共有しながら発表会の準備を進めてきましたので、ぜひ多くの市民の皆様にも会場へ見に来ていただきたいと思っております。なお、合同発表会には、受け入れてくださった事業所の方々も参加しまして、子どもたちの発表を聞いての感想やご意見をいただく予定になっております。以上よろしくお願いいたします。

5 オアシス2019冬 イルミネーションドームの開催について

みなとオアシス事業の一環としまして、12月21日・22日の2日間、おんでこドームにおいてオアシス2019冬 イルミネーションドームを開催いたします。佐渡島の玄関口であります両津港、みなとオアシス佐渡両津のPR及び賑わい創出を図るため、8月10日から5日間開催されたオアシス夏 あいぽーとガーデン ビアフESTAに続く初の試みの第2弾としまして、寒さを吹き飛ばすほどの熱い思いを込めました地域の活性化を図るイベントでございます。

12月15日午後5時から、イベントに先がけ、おんでこドームのステージにおいて、およそ1万3,000球のLEDで装飾されましたイルミネーションの点灯式を行います。また、子どもたちには綿あめのプレゼントを用意しておりますので、ぜひご参加いただければと思います。このイルミネーションの点灯は、25日のクリスマスまで毎日午後5時から午後9時まで行ないますので、ご家族、ご友人とお楽しみいただければと思います。21日は前夜祭としまして午後3時から午後9時までクリスマスマーケットを開きます。翌22日午前10時から、クリスマスマーケットに加え、サンタの大鍋汁ふるまいとして、佐渡南蛮エビ汁を先着300食無料サービスするほか、お子様にはお菓子やバルーンアートのプレゼントもご用意しております。その他ダンボールでつくった迷路やフラダンス、ブラスバンドの演奏など盛りだくさんな内容となっておりますので、クリスマス前のひと時をぜひオアシス2019冬 イルミネーションドームに足を運んでいただき、イルミネーションと合わせてお楽しみください。多くの皆様のお越しをお待ちしております。

6 さどまる倶楽部のスマートフォンアプリと地域通貨「だっちゃんコイン」の導入について

一般社団法人佐渡観光交流機構では、佐渡市の会員制度であります、さどまる倶楽部会員向けにスマートフォンアプリのリリースと同アプリに搭載します地域通貨「だっちゃんコイン」の試験運用を12月1日から開始いたします。今回試験運用として導入するアプリケーションによって、さどまる倶楽部の会員番号の即時発行や会員証のアプリ上の提示が可能になり新規の会員登録や既存の会員の利便性の向上が期待されます。また、このアプリケーションを利用することで、両津港、新潟駅、新潟空港に設置する予定のチャージ機で入金し、島内で使えるキャッシュレス決済にも対応することができます。佐渡観光交流機構では試験導入後、有効性等をはかりながら、外国人観光客への対応や利用者へのキャンペーンなどを企画していくことになっております。このアプリケーションは、アップストアとグーグルプレイで12月1日からダウンロードが開始されます。市といたしましても、このアプリケーションの試験導入により、さどまる倶楽部会員の申し込みが促進され、会員である利用者にとって利用しやすく、地域にとってもキャッシュレス決済の環境整備が促進されることを期待しております。

事前質問

1 佐渡市将来ビジョンの意見交換会について

市が最上位計画と位置付ける将来ビジョンの説明が始まりました。これまでの説明会で市民からどのような意見が寄せられたか、お聞かせください。

現状の説明について、「一般論的な説明が多く、佐渡市に特化したビジョンが見えない」「数値目標が少なく、具体性につかみにくい」という意見も聞かれました。そうした声をどうとらえるのか、また将来ビジョン完成に向けそれらの声をどう反映させて佐渡の課題・将来像に対応した内容とされていくのか、お考えをお聞かせください。

市長：

多かった意見としましては、現行の将来ビジョンをどう評価し、二次将来ビジョンにどのように

反映したのか。あるいは、高齢化が進む中で両津病院を含めた将来の医療体制と福祉、介護についてどのように考えているのか。あるいは人口減少の推移、また、将来の財政事情などについての意見が多かったと感じております。

2番目の質問につきましては、今回の市民の意見交換会は10年間の基本構想と5年間で取り組む具体的な計画について、施策の柱を示した概要版で説明を行いました。このため、細部までの説明が足りなかったこと。また、具体的な目標値を示さなかったため、不十分な説明のところもございました。その中でも、各分野におきまして現状を踏まえた様々な意見をいただきました。この意見を真摯に受け止め、どう具体化できるかも踏まえ、市民参画会議や庁内で検討してまいりたいと考えております。また、このビジョンの目指すべき姿を本文の前書きに記載し、より市民の皆様様に理解いただけるよう表現したいと思っております。金井コミュニティセンターで行われました意見交換会の冒頭部分は、12月上旬にCNSテレビ112チャンネルでの放送を予定しております。意見交換会に参加できなかった皆様にも、テレビを通じて説明会の様子をお伝えし、12月末に予定しておりますパブリックコメントで多くのご意見をいただきたいというふうに思っております。

2 両津港南埠頭再編について

両津港南埠頭について県から新たな再編案が示され、今後整備に向けた動きが本格化する可能性があります。再編案の受け止めと、市としてどのように関わっていくのか、お考えをお聞かせください。

また、本年度中に県の港湾計画が変更される見通しとなるなど、動きが加速しているようにも見えます。追い風があるとしたらどういった要因が考えられるでしょうか。いつごろまでに再編が実現するのが望ましいか、スケジュールについてのお考えと合わせてお教えてください。

市長：

まず再編案につきましては、南埠頭を利用する関係者の皆さんから意見をいただきながらとりまとめることが目的でございまして、新潟県とともに再編におけるゾーニング案を作成していきたいと考えております。ゾーニング案の作成にあたりましては、佐渡市として両津港周辺の交通対策のあり方を検討したいと思っておりますが、市民の中でもいろいろな意見がございますので、市民の問題意識を把握するために、それを吸上げていくことをしていきたいと思っております。

今回の南埠頭再編は、県による施設の老朽化対策が契機となっているものでございますが、両津港は佐渡の玄関口であり、航路利用者の利便性が向上し、地域の活性化に繋がることなどから、世界遺産にふさわしい島になることを期待しております。一年も早く事業化され早期の完成を期待しているところでございます。事業推進に向けて国や県へ今後も働きかけていくとともに、市としても協力してまいりたいと考えております。

質疑応答

1 令和元年度佐渡市一般会計補正予算（第9号）について

記者：

待鶴荘の訪問介護事業所の休止の件なんですけれども、これは利用者ですとか職員の方々に何か

影響とか出るようなものなんですか。また、再開の見通しというのはどうなんですか。

市長：

これについて利用者への影響は出る形は一切ないというふうに考えておりますが、ちょっと組み立ての詳細は担当のほうからお願いします。

高齢福祉課長：

訪問介護事業所の休止についてご説明いたします。現在、この訪問介護事業所につきましては、民間の事業者のほうにお願いをしております、それまで待鶴荘の訪問介護事業所を利用された方はそのまま民間の訪問介護事業所をご利用いただけるということで、利用者に対する影響はないというふうなことでございます。また、職員につきましても従来訪問介護事業所で従事していた職員につきましては、待鶴荘の中の他の事業、特定施設であるとか養護事業の業務のほうに従事していただくというような状況でございます。

記者：

再開の見通しは。

高齢福祉課長：

現在、私ども休止ということでさせていただいているところですが、今回の不正請求に至った経緯等も考慮いたしますと、このまま休止からいずれは廃止という方向性を考えているところでございます。

記者：

改めて説明をいただければと思うんですけども、一応問題があったのは特定施設のほうですけども、訪問介護所のほうを休止するっていう判断の繋がりというものを教えて下さい。

高齢福祉課長：

施設の中に3業務があるのですが、待鶴荘に入所しながら介護サービスを受けていただくためにはやはり特定施設というものにつきましてはそのまま継続していきたいというふうに考えてございますし、3つの事業所があったという複雑な形態というものがございましたので、民間の事業者に担っていただくことが訪問介護事業につきましては可能であったということも総合的に判断いたしまして今回の休止という判断を取らせていただいたところでございます。

2 第2期佐渡市子ども・子育て支援事業計画（素案）に係るパブリックコメントの実施について

なし

3 佐渡市雇用機会拡充事業の公募に向けた事前相談を行なっています

なし

4 課題解決型職場体験発表会の開催について

なし

5 オアシス 2019 冬 イルミネーションドームの開催について

なし

6 さどまる倶楽部のスマートフォンアプリと地域通貨「だっちゃんコイン」の導入について

記者：

こういったコインっていうのは、現在の市町村っていうのは導入しているところはどのくらいあるの。

市長：

全部ここで今答えることはできません。例えば塩釜とか、日本の中でいわゆる地域通貨という形ではいくつか発行しているところはございますが、今回の観光交流機構で取り組むのは、いわゆるさどまる倶楽部、島外の方の会員向けの通貨の発行でございますので、こういう形態はこれまでとはまた違う最初の形かなというふうに思っております。

記者：

来年の3月に本格始動を予定しているということですが、このタイミングの理由とメンバーゲットというのはどのようなものでしょうか。

市長：

タイミング的にはちょっと詳しくは観光交流機構の専務理事も来ておりますので、説明してもらいますが、佐渡へ訪れていただく方に対する利便性、これを高めるためになかなかキャッシュレスが進まなかった部分を展開しようということが一つの目的でございますが、補足・・・、観光振興課長のほうから。

観光振興課長：

主なターゲットということなんですけど、まずは会員向けに3月まで展開してみて、今後外国から来る飛行機なんかもFIT、個人の旅行者をターゲットにしている航空会社というところが増えてまいりますので、そういうところにも利用できるように枠を拡大していきたいと考えております。

記者：

2020年3月というのは特にタイミングの理由はあるんですか。

観光振興課長：

今度タイガーエアーさんが就航するというので、まずは環境整備からというところで考えております。

記者：

そうすると台湾からの観光客っていうのが一つターゲットなんですか。

観光振興課長：

そうですね。今見えてて具体的な数字が掴めそうというところになりますと、そこが一番近いかなと考えています。

事前質問への追加の質疑

1 佐渡市将来ビジョンの意見交換会について

なし

2 両津港南埠頭再編について

記者：

先程今このタイミングで提案が動き出してることの理由について、県の老朽化対策が理由として考えられるとおっしゃいましたが、今年に入ってから色々と自民党幹事長とか国土交通大臣とかが訪問されて、色々と状況も視察されて行ったと思うんですけども、その際特に何か要望されたり、その時にどんな感触を得ていたか、そういったところに関していかがでしょうか。

市長：

そこについてはこれまでも国土交通省の幹部の方等色々来ていただいた時も、国土交通大臣がお越しいただいた時なども含めて、必ず視察の中に埠頭ターミナル周辺のところもしっかり見ていただいております。で、ご存知のように佐渡市は老朽化対策含めて埠頭、トータルの護岸の整備、静隠度の向上等々含めた部分、駐車場問題も含めて、県とかには要望は色々あげておりましたので、その辺を踏まえた中で南埠頭の老朽化対策の当初の十数年前にしていた案からの今回変更案を提案いただいたということでございます。

記者：

国からの後押しというのも期待できる場所なんですか。

市長：

これは現状、県からの提案を案として受けた状況でございます。これを踏まえて最終的に当然国からの財源、負担ということを要望していく形には県としても方向性としてはなるとお思いますので、最終的にトータルで、県、佐渡市合わせながら国に対して財源要望等をこれからお願いしていくことになると思います。